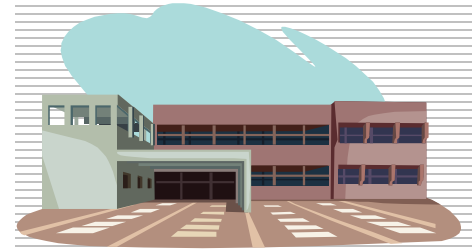


# 「公共施設の現状」の公表について

～建築物の施設数及び延床面積～



～ 将来世代に負担を先送りすることなく、  
より良い資産を次世代に引き継いでいくために ～



平成30年6月21日  
総務部 公有財産活用局  
公共施設マネジメント推進課



## 公共施設の現状と課題等

⇒ 平成25年10月に「長野市公共施設白書」を公表

5年経過



白書

815施設 延床面積154万㎡ 市民一人当たり4.0㎡/人  
今後40年間の改修・更新費用 総額約5,858億円  
道路・橋りょう、上下水道などインフラ施設の公表

○建築物を対象に現時点における公共施設の総量等を集計

公共施設白書



公共施設の現状



現状

建築物を対象  
道路・橋りょう、上下水道は含まない

公共施設の現状公表

建築物の施設総量 : 毎年度公表

インフラ施設 : 3~5年ごとに建築物と併せて公表予定

将来の改修更新費用などのコスト : 「中長期保全計画」において改めて公表

# 1 対象施設

○平成30年2月総務省通知に基づき、**全施設を対象**（インフラである上下水道施設は除く）

総務省「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」（抜粋）

・・・なお、これらの把握・分析は、**公共施設等全体を対象とする。**

## 本書の対象

公表の対象（全施設）  
813施設、約2,700棟  
+ 白書対象外570施設

### マネジメント支援システム

※複合施設等で、登録方法が一部異なる  
※長野市民病院も含まれる

台帳と一致

公共施設白書（H25.10）  
815施設、2,082棟

延床面積が原則200㎡以下の  
小規模施設、簡易な倉庫、公衆  
トイレ、文化財は除く

学校など複数の棟がある場合、  
倉庫などの小規模な建物は除く

## 白書の対象

### 固定資産台帳

#### 固定資産台帳（建物）

- ・事業用資産
- ・インフラ資産

100万未満除く

#### 固定資産台帳（工作物）

- ・事業用資産
- ・インフラ資産

#### 固定資産台帳（土地）

- ・事業用資産
- ・インフラ資産

### 公有財産台帳

#### 公有財産台帳（建物）

【現存する全建物】  
行政財産、普通財産  
※取り壊し前の建物含む

建物付属設備

#### 公有財産台帳（工作物）

白書対象外施設  
570施設

#### 公有財産台帳（土地）

約900棟  
対象とする

台帳と一致

表1 公共施設総量 総括表

項 目		白 書 【H25.4.1現在】	現 状 【H30.4.1現在】	増 減
対象施設		200㎡以上	全施設	-
人口 (人)		385,150	378,389	- 6,761
施設保有量	施設数(施設)	815	813 (1,383)	- 2
	棟数(棟)	2,082	2,706 (3,466)	+ 624
	延床面積(㎡)	1,542,946	1,609,266 (1,673,943)	+ 66,320
	市民一人当たり 面積(㎡/人)	約 4.0	約4.3 (約 4.4)	+ 0.3
老朽化 (築30年以上)	割合	44%	45% (46%)	+ 1%
	面積(㎡)	679,418	723,452 (767,724)	+ 44,034

現状の ( ) 内は、白書対象外施設を含めた数字

項 目		白 書 【H25.4.1現在】	現 状 【H30.4.1現在】	増 減
施設分類別の 延床面積の割合	学校教育施設	35.5%	36.1% (34.7%)	+0.6%
	市営住宅等	15.0%	14.7% (14.2%)	-0.3%
	行政施設	10.3%	11.0% (10.6%)	+0.7%
	生涯学習・文化施設	9.1%	9.5% (9.1%)	+0.4%
	観光・レジャー施設	8.3%	7.6% (7.3%)	-0.7%
	体育施設	7.8%	9.7% (9.3%)	+1.9%
	保健福祉施設	6.5%	6.3% (6.1%)	-0.2%
	医療施設	2.5%	2.3% (2.2%)	-0.2%
	産業振興施設	1.3%	1.2% (1.2%)	-0.1%
	その他施設	3.7%	1.5% (1.5%)	-2.2%
	白書対象外施設	-	- (3.9%)	-

現状の（ ）内は、白書対象外施設を含めた数字

### 3 白書との比較(施設数)

表2 施設保有量(施設数)

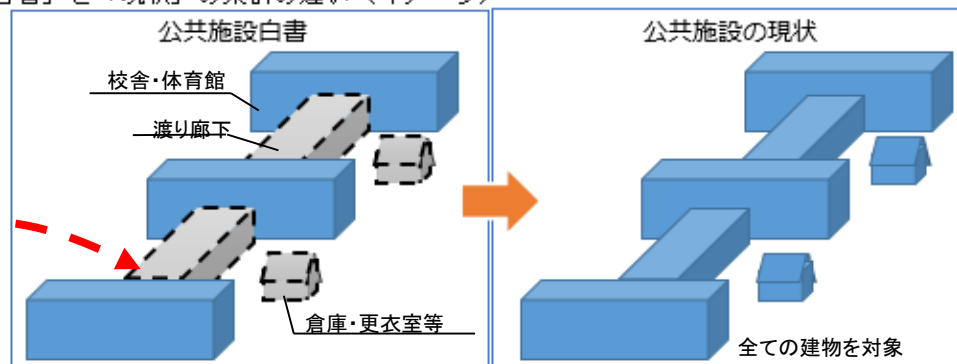
	大分類	白 書	現 状	増 減
①	学校教育施設	92	92	±0
②	生涯学習・文化施設	121	124	+ 3
③	観光・レジャー施設	39	39	±0
④	産業振興施設	36	44	+ 8
⑤	体育施設	61	63	+ 2
⑥	保健福祉施設	162	163	+ 1
⑦	医療施設	6	12	+ 6
⑧	行政施設	195	181	-14
⑨	市営住宅等	90	86	- 4
⑩	その他施設	13	9	- 4
合 計(① + ② + … + ⑩)		815	813	- 2
⑪	白書対象外施設	-	570	+570
総 計(① + ② + … + ⑩ + ⑪)		815	1383	+568

### 3 白書との比較(延床面積)

表3 施設保有量(延床面積)

	大分類	白 書	現 状	増 減
①	学校教育施設	547,255	580,586	+ 33,331
②	生涯学習・文化施設	140,672	152,870	+ 12,198
③	観光・レジャー施設	127,643	122,500	- 5,143
④	産業振興施設	20,162	19,646	- 516
⑤	体育施設	120,958	156,303	+ 35,345
⑥	保健福祉施設	100,971	101,866	+ 895
⑦	医療施設	38,632	37,387	- 1,245
⑧	行政施設	159,254	176,687	+ 17,433
⑨	市営住宅等	230,777	237,097	+ 6,320
⑩	その他施設	56,623	24,324	- 32,299
合 計(① + ② + … + ⑩)		1,542,946	1,609,266	+ 66,320
⑪	白書対象外施設		64,677	+ 64,677
総 計(① + ② + … + ⑩ + ⑪)		1,542,946	1,673,943	+ 130,997

「白書」と「現状」の集計の違い(イメージ)



#### 【小中学校】

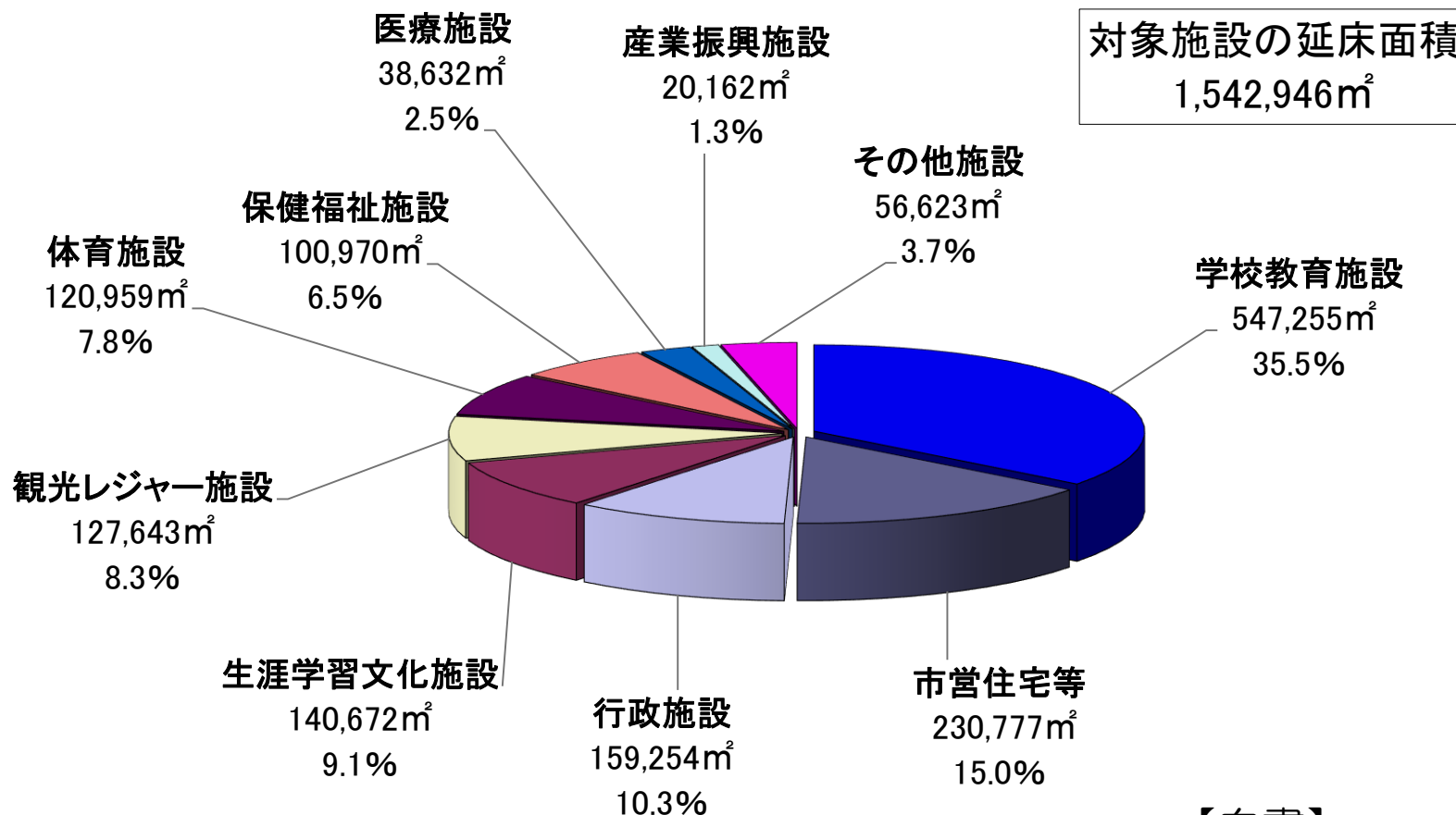
白書は、校舎と体育館を対象  
上記以外の建物（渡り廊下、更衣室、  
倉庫ほか）で約40,000㎡あり

## 5 白書との比較(主な増減施設)

減った主な施設	増えた主な施設
<p>後町小学校 (5,365㎡)</p> <p>第一学校給食センター (2,701㎡)</p> <p>篠ノ井市民会館 (2,397㎡)</p> <p>皐月、下氷鉦、三輪、川田保育園 (計2,853㎡)</p> <p>東口仮住宅、駅周辺整備局事務所 (計2,125㎡)</p>	<p>第四学校給食センター (6,614㎡) 【H29.3~】</p> <p>健康レクリエーションセンター、リサイクルプラザ (計12,329㎡) 【H30.3~】</p> <p>北部レクリエーションパーク (3,504㎡) 【H26.4~】</p> <p>長野市芸術館 (12,510㎡) 【H27.4~】</p> <p>南長野運動公園Uスタ (26,620㎡) 【H27.4~】</p> <p>松代斎場、大峰斎場 (計6,215㎡) 【H27.9~】 【H26.10~】</p> <p>更北体育館、大豆島体育館 (計2,527㎡) 【H25.11~】 【H28.9~】</p> <p>皐月かがやきこども園 (1,393㎡) 【H30.4~】</p> <p>中央消防署(新) (3,772㎡) 【H29.3~】</p>
<p>上記の合計 15,441㎡</p>	<p>上記の合計 75,484㎡</p> <p style="text-align: right;">※【】 供用開始年月</p>



# 6 白書との比較(施設分類別延床面積)



対象施設の延床面積  
1,542,946m<sup>2</sup>

図1 施設分類別延床面積 【公共施設白書】

施設分類	割合 (%)
【白書】 学校教育施設	35.5%
市営住宅等	15.0%
行政施設	10.3%
上記だけで	60.8%

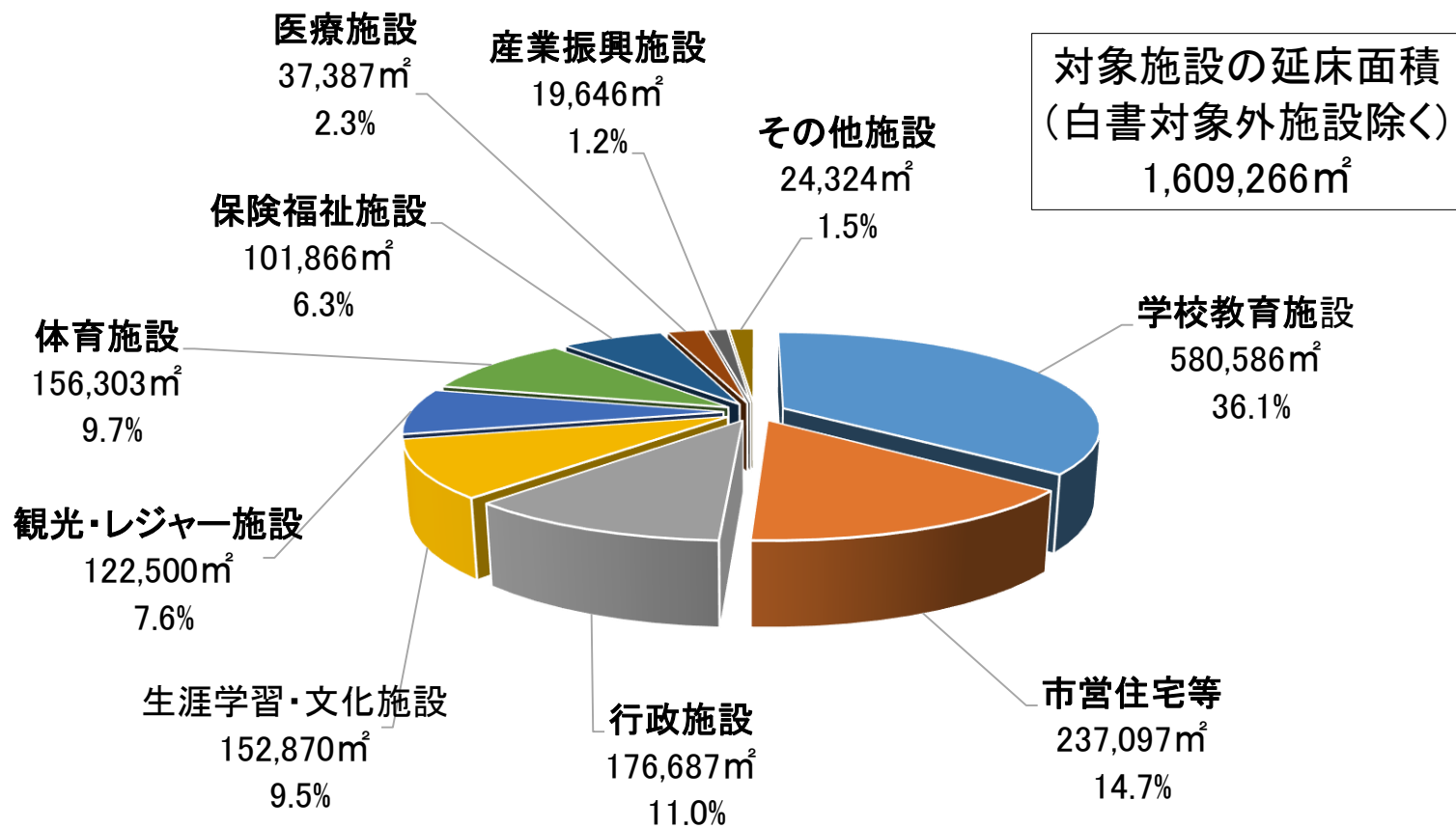
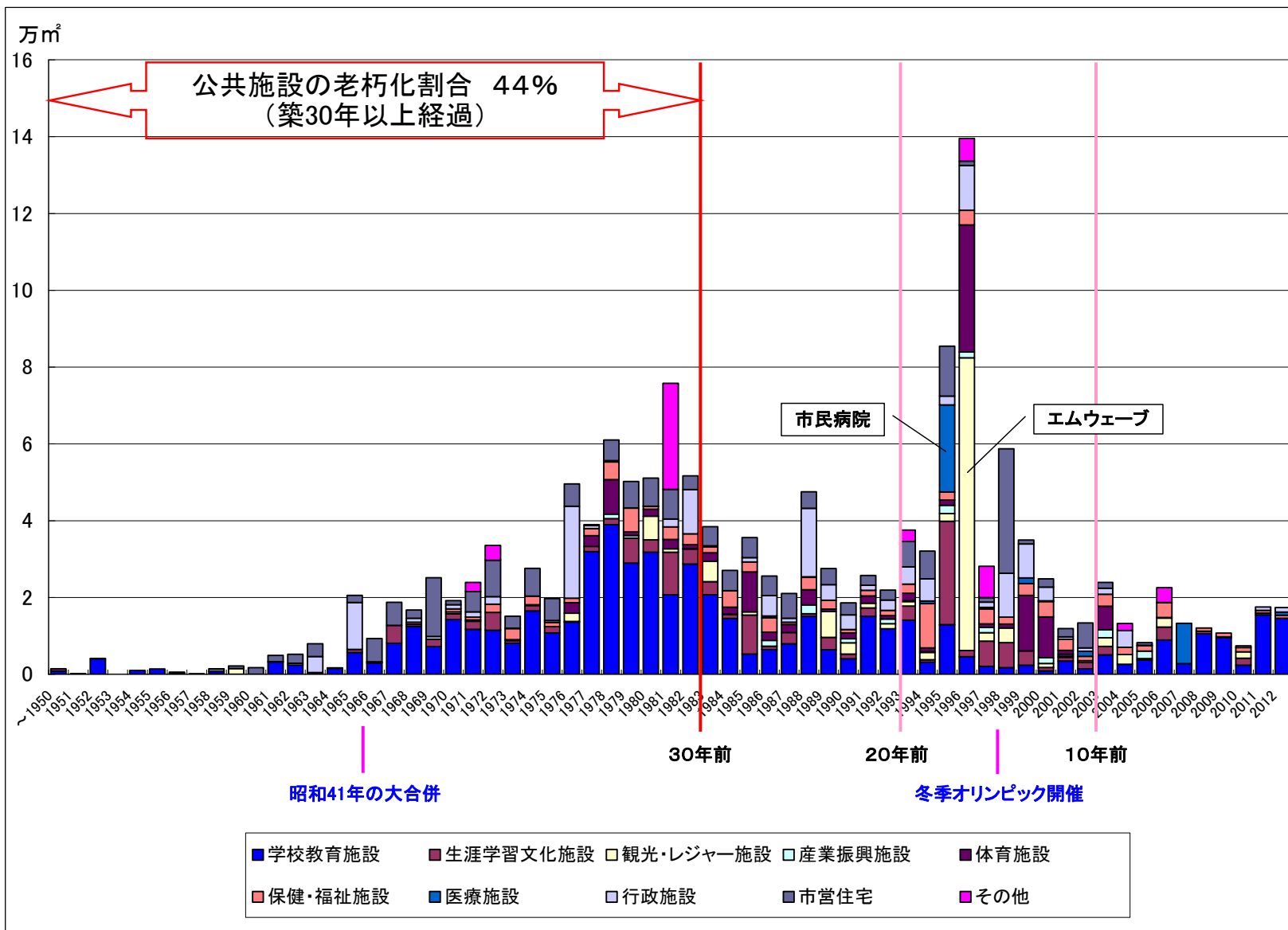


図2 施設分類別延床面積(白書対象外施設を除く)  
【公共施設の現状】

【現状】	
学校教育施設	36.1%
市営住宅等	14.7%
行政施設	11.0%
上記だけで	61.8%

# 9 白書との比較(建築年別整備状況)

## 【白書】



## 【現状】

